

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-1-7 災害に強い県土づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 港湾空港課長 奥村 恭 電話番号 0852-22-5228

事務事業の名称	海岸保全事業（港湾）	
目的	(1) 対象	港湾海岸背後の住民
	(2) 意図	侵食や高潮による海岸の被害を防止し、安全で安心して暮らせるようにする。
事業概要	港湾海岸背後の住民の生命、財産及び公共施設を海岸侵食による被害から防護するため、海岸保全施設を整備する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	海岸保全施設の整備率	目標値	85.60	89.90	
式・定義	海岸保全施設の実施済み延長／海岸保全施設の計画総延長	実績値	84.90	92.70	93.50	94.80		%
		達成率		108.30	104.00	100.00		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値	0.00	0.00				
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00				
達成率		0.00	0.00				%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	170,146	405,641
うち一般財源(千円)	8,642	48,931

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・久手港海岸では侵食が進んでいる箇所があり、離岸堤改良に着手。（整備率91％）
- ・三隅港海岸では離岸堤の整備を進めてきたが、砂浜の回復を図るため、突堤等の設計に着手。（整備率74％）
- ・益田港海岸では離岸堤の整備により、砂浜が回復してきた。（離岸堤整備率100％）
- ・別府港海岸では高潮対策として、離岸堤の整備中、養浜により海とふれあえる浜辺の整備を完了。（整備率92％）
- ・七類港海岸、田儀港海岸、浜田港海岸については整備を完了。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

施設整備済みの区間において、海岸侵食が止まり、砂浜が回復するなど事業効果の発現が見られる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・離岸堤の整備を主体とした海岸保全対策を進めているが、離岸堤のみでは侵食対策が不十分な海岸もある。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・海岸により海岸侵食や堆積のメカニズムが異なり、様々な対策が求められる。

③原因を解消するための「課題」

- ・離岸堤工事に併せ、航路浚渫した砂を養浜に使用するなど侵食防止工事を効果的に進める必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・益田港海岸・久手港海岸では、離岸堤工事に併せ、航路浚渫した砂を養浜に使用するなど侵食防止工事を効果的に進めて行く。
- ・三隅港海岸では、離岸堤3基が完成し、今後突堤と養浜の整備を進めて行く。
- ・別府港海岸では、養浜により海とふれあえる浜辺の整備が完了し、残る離岸堤の整備を急ぐ。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）